

令和6年度 校長より ⑨

雲一つない快晴の中、副委員長から開会宣言が行われました。9月7日(土)、第37回六国祭(体育祭)が開催されました。六国総務を中心に7月の結団式から準備と練習を重ねてきた生徒たちですが、企画運営は実行委員会が、応援、チア、仮装、パネルは各色幹部がリーダーシップを発揮し、ひと夏かけてこの日を迎えました。炎天下ではありましたが、生徒たちは各競技や色別発表に命をかけて臨み、総合優勝を目指しました。一人ひとりが渾身の力で取り組む姿は人の営みを超えた美しささえ感じました。特に今回は、部活動に頼らない実行委員会中心の運営形式に踏み切り、それを見事に成功させたことは、これまでの六国祭の歴史にはない極めて価値ある取り組みだったと感じています。勇気を持って大きな一歩に踏み出してくれた大高生全員に、心から敬意を表したいと思います。このことが定着して伝統となり、次世代に引き継がれていってくれることを心より願っています。また、長期に渡り生徒たちの取り組みを支えていただきました保護者の皆様には心より感謝申し上げます。今後も生徒たち一人ひとりの成長に結びつくよう教育活動に取り組んでまいりますので、ご協力のほどどうぞよろしくお願い致します。

今回は、プロジェクトチームが受賞となりました。9月19日付にて教育長から「令和6年度10月期神奈川県教育委員会職員功績賞」の審査結果の通知があり、昨年度12月から3月まで特任チームとして校長からのミッションに取り組んだ「進路目標実現等プロジェクトチーム」が受賞者として決定しました。このプロジェクトチームは、42期生(令和6年度入学)以降の生徒たちに対して、入学後の3年間を見通して本校が行うべき進路指導の方針や内容、方法等を検討するために結成された組織で、入学3年後の進路結果の目標値、生徒の学習習慣の定着の手法、生徒の学力レベルの把握と向上の手立て、各教科の指導内容の体系化などについてチームとして取り組み、それらを「進路指導コーチングマニュアル」として取りまとめたことが高く評価され、この度受賞するに至りました。本校では、これまで全教職員により統一的、計画的に教育活動が推進されるように、組織的な学習指導や生徒指導等に取り組んできたところですが、今回、進路指導での組織的な取り組みとしてその功績をお認めいただいたことは、校長として誠に有り難いことと感じており、また、これまで少しでも学校を良くしようと真摯に取り組んでいる教職員たちにとって大いに励みになることと受け止めています。今後も皆様方の期待に応えられるように取り組んでまいります。

令和6年9月

神奈川県立大船高等学校 校長 幸田 隆